

団体名		公益財団法人 武蔵野市子ども協会						
事業	① 指標名	地域子ども館事業（学童・あそべえ事業）の安定化を図る			目標値	子ども協会に運営を任せて良かったと評価される	実績値	施設職員への支援体制を強化し、概ね良好な運営を実施することができた。
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率	87.4%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:)	事業受託の検討	事業受託決定	事業運営開始				
	取組内容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 現場での指導相談等を行うアドバイザーを新たに配置し、市が期待する①から⑥の向上に努めた。 ①学童事業とあそべえ事業の連携強化 ②学校や地域との連携の強化 ③障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援強化 ④安心して子どもを任せられる現場対応力 ⑤子どもの健やかな育ちを支える育成の質の向上 ⑥子ども協会の運営により市が新たに得られる補助金を活用した人的体制の強化						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 学童クラブにおける5年生までの障害児の受入れの拡充、二つの小学校で支援の単位が一つずつ増設されたが、館長を中心とした日々のスタッフミーティング、アドバイザーの定期巡回等により、概ね円滑な事業運営を実施することができた。引き続き、児童の見守り・育成の質向上につながる取組について検討していく。						
二次評価	目標値には達しなかったが、アドバイザーの巡回による体制強化や学童クラブにおける5年生までの障害児受入れの拡充を行うなど、新たな取組を行う中でも安定した運営がなされたことを評価する。引き続き、アンケート等による保護者等の意見等も踏まえながら、サービス向上に努めていただきたい。							
財務	② 指標名	老朽化した施設の改修への対応			目標値	施設の適正な維持管理と改修の財源確保の検討	実績値	当面の維持管理及び今後の更新について市と協議を重ねた。
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率	65.0%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:)	当面の維持管理について、市と協定を締結した。	当面は市が直接支援することとし、今後の施設更新については検討を続けることとした。	当面の維持管理及び今後の施設更新について市と協議を重ねた。				
	取組内容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①協会施設の維持管理のあり方を市と認識を共有化し検討を行った。 ②協会施設の大規模修繕に係る予算要求事務や実際の工事管理などの役割分担について引き続き検討を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 老朽化した施設で安全面から緊急工事をしなければならない時でも、財源的に裁量の余地が極めて限定的なため、すみやかな対応が困難である。次年度以降、工事の施工管理について子ども協会が実施することとなったため、施工管理を円滑に行っていくための体制づくりを早急に進める必要がある。						
二次評価	目標値には達しなかったが、市との協議において、速やかな工事対応を行うために工事の施工管理を子ども協会が実施し、子ども協会が施工管理の方法・技術を取得できるようにしたことを評価する。引き続き、協会施設の維持管理・修繕を子ども協会が安定的に行うことができるよう、施工管理の体制づくりを進めていただきたい。							
内部	③ 指標名	職員の人事・給与制度の検討			目標値	職員のやる気のできる人事・給与制度の導入	実績値	計画的な職員研修の実施 内部登用制度の運用
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率	86.0%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:)	給与制度の見直し	内部登用試験制度等の導入	研修の充実 無期雇用への対応				
	取組内容	※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市や各財政援助出資団体の制度の比較を行い、バランスの取れた人事・給与制度に向けての検討を進めた。 ②地域子ども館事業を受託し、多様な勤務体制ができたため、職種間のバランスをどのように図るのか検討を進めた。 ③係長昇任試験制度の実施に向け準備を進めた。 ④要綱改正を行い、主任昇任試験制度の運用を拡充した。 ⑤研修計画に基づき職員研修の充実を図った。 ⑥無期雇用への導入を行った。 ⑦退職金の制度見直しについて検討を進めた。 ⑧人事評価制度について研究を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 子ども協会は、平成30年度末時点で正規職員と嘱託職員を合わせて340名を超える団体となっている。優秀な人材の確保、育成の重要度が年々増しており、職員のモチベーションの向上につながる人事・給与制度の構築が必要である。今後は人事評価制度の導入についても検討を進めていく。						
二次評価	目標値には達しなかったが、主任昇任試験制度の運用の拡充や係長昇任試験制度の実施に向けた準備を行うなど、適切な人事評価が行えるように制度や研修体制を整えたことを評価する。引き続き、職員のモチベーション向上につながる人事評価や給与制度の検討を行い、優秀な人材の確保・育成に取り組んでいただきたい。							